



OKAYAMA
KENKO
KEIWO
KANGAERU
KAI

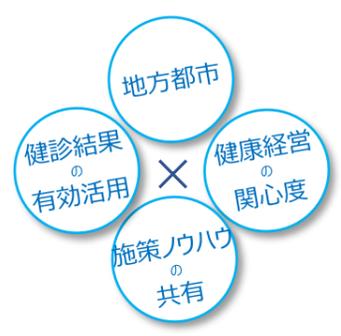
OK・4CUS

岡山の健康経営にFOCUS

岡山健康経営を考える会 会報誌

2023年秋号

『岡山 健康経営を考える会』とは？



岡山は健康経営の関心が高い！

超高齢化が進む日本では、その生産性を維持する方法の一つとして「健康経営」の取り組みが、大企業を中心に注目されています。

一方で、日本の421万企業のうち99.7%は中小企業で構成されており、生産性維持、向上の観点からも中小企業の健康経営の実践が課題となっております。

健康経営とは？
健康経営とは、従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営手法のこと

健康経営優良法人認定制度とは？
地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

岡山では466社が中小規模法人部門認定を受け、16社がプライト500を取得しており、その数も他県をはるかに上回っています。『岡山 健康経営を考える会』会員企業・団体では、24社が認定、4社がプライト500を取得されています。

岡山は経産省が推進する「健康経営優良認定制度」の中小規模法人部門で認定される企業数が、東京・愛知・大阪を除く地方としては4番目に多い県であり、健康経営の関心が高い県と言えます。

そこで、県内中小規模法人がこれまで以上に健康経営に関心を持ち、取り組みを促進、充実していくためにも、法人有志が連携して広く県内外の情報、事例等の取得を進めることが重要と考えました。

それぞれの健康施策やノウハウを支援の無い範囲で共有し、重要と考えられる共通の課題については共同検討の機会を設けて、岡山の状況にマッチした施策開発、改善を目指すべく、今般『岡山健康経営を考える会』の設立に至ったものです。

このような取り組みは全国でも珍しく、先進的なものと考えられます。

『岡山健康経営を考える会』は企業と働く従業員の健康ならびに幸せを願う皆で学び、皆で実践することによって岡山の企業の発展と地方発の健康経営の在り方を全国に発信します。

2023年度上期総会 講演会を開催！



岡山 健康経営を考える会 総会
後援 岡山県、全国健康保険協会岡山支部、岡山県法人会連合会



講演会
題目「健康経営にいきいき職場環境改善」
講師 川上 幸子氏
岡山 幸子氏

会員企業43社 (2023年10月現在) 50音順 敬称略

- | | | | |
|-------------------|----------------|-----------------|-----------|
| 株式会社荒木組 | カジノン株式会社 | ★セリオ株式会社 | 双葉車輛株式会社 |
| 井原精機株式会社 | 片山工業株式会社 | ダイヤ工業株式会社 | 株式会社丸五 |
| 株式会社ウッドィヨネダ | 菅公学生服株式会社 | 株式会社竹本商事運輸 | 水島運搬機株式会社 |
| オーエム機器株式会社 | 関西プラスチック工業株式会社 | 株式会社タック | みのる産業株式会社 |
| オーエム産業株式会社 | 倉敷レーザー株式会社 | にのみ清掃株式会社 | |
| 岡山ガス株式会社 | ★株式会社コンケン | ★株式会社ニッカリ | |
| 一般社団法人岡山県商工会議所連合会 | 有限会社近藤鉄工所 | ネットヨタ山陽株式会社 | |
| 岡山交通株式会社 | 桜田工業株式会社 | 服部興業株式会社 | |
| 株式会社岡山スポーツ会館 | 有限会社三協鋳螺 | パナソニック吉備株式会社 | |
| 株式会社岡山高島屋 | 株式会社三幸工務店 | 備商株式会社 | |
| 岡山ビューホテル | 山陽環境開発株式会社 | 備前化成株式会社 | |
| 株式会社カートップ | シーアール物流株式会社 | 藤クリーン株式会社 | |
| カシスコミュニケーション株式会社 | ★一般財団法人淳風会 | ★株式会社フジワラテクノアート | ★発起法人 |

会員企業随時募集中！！
会員企業の皆様からのご紹介お待ちしております！

- ①法人・団体名 ②業種 ③従業員数 ④代表者・担当者 ⑤連絡先 ⑥加入健保
①～⑥を以下のアドレスまでご連絡ください

ok4@junpukai.or.jp

『岡山 健康経営を考える会』事務局：一般財団法人 淳風会
岡山市北区大供2-3-1 TEL：086-226-2666(代表)

活動が始まって半年が経過しました

今回の秋号では、2023年9月27日(水)に、岡山国際交流センターにて開催した『岡山健康経営を考える会(以下・考える会)』上期総会と、講演会を振り返ります。

総会では、新規会員企業の決議他活動報告がなされました。その後の講演会では、健康経営において注目度の高いメンタルヘルスをテーマに、東京大学川上先生、淳風会峰山センター長が登壇され、過去の事例などの紹介をいただきました。

また、今年度の健康経営度調査票についても紹介、昨年度との違いや注意すべきポイントなどを振り返り特集します。



講演会講師、川上先生(左)と、峰山先生(右)

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会により商標登録されています

講演会「健康経営にいきいき職場環境改善」
講師 岡山県、全国健康保険協会岡山支部、岡山県法人会連合会
後援 岡山県、全国健康保険協会岡山支部、岡山県法人会連合会
川上幸人氏
峰山幸子氏

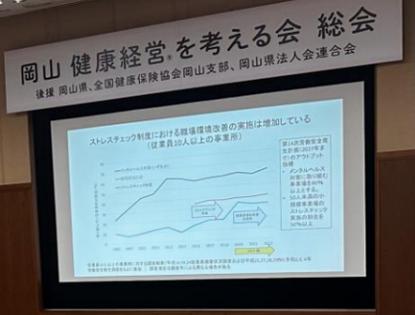


上期総会・講演会の開催

9月27日水13時より、岡山国際交流センターにて、考える会上期総会・講演会が執り行われました。

総会には、26社38名が出席。2月の発足以降、4月の活動開始から現在に至るまでの活動報告がなされました。活動報告として特筆すべきは、健康経営のノウハウ共有と会員企業どうしの交流の一つにもなる企業訪問です。今後も企業訪問は計画していく考えです。加えて日経新聞や山陽新聞などの各種メディアへの露出が多かった点もあげられます。これはメディアを通して多くの企業、人が注目している証拠だといえます。(メディア掲載については後述)

**新規会員11社
会員企業43社へ!**
また、本総会では新規会員企業の入会決議が行われました。今回の決議では暫定会員企業となっていた11社の入会決議が行われ、全会一致で承認可決となりました。



本講演会にご参加いただいた皆さまにアンケートを実施させていただきました。講演会へのご出席、アンケートへのご協力に感謝申し上げます。

以下にアンケート結果をピックアップいたしました。皆さまが日々苦勞されている課題を窺い知ることができました。皆さまからのこうした声を反映出来るべく、考える会の今後の活動を力強く進めてまいりたいと思います。

メンタルヘルスについて

- ・ 経営者、従業員双方の考え方を变える必要がある
- ・ ストレスチェックの結果を有効に活かしているか
- ・ 当人に適切な対策を講ずることが出来ているか

健康経営全般についても

- ・ 従業員のリテラシー向上
- ・ 経営陣の理解醸成
- ・ 全社浸透
- ・ エンゲージメント向上のための施策構築、実施

「ACTION健康経営」の健康経営WEEK 2023

8/23(水)より公開中
スマホ視聴はこちら

認定企業多数の岡山県
地域で推進する健康経営

稲岡美穂氏

健康経営WEEK 2023 ウェビナー

ACTION! 健康経営

9月7日山陽新聞社説にて、岡山県内の健康経営取組の一端を担う『岡山健康経営を考える会』への期待を表明

社説では岡山県内企業の健康経営の取り組みが全国に抜きん出るものであり、とりわけ中小企業数に対する健康経営優良法人認定数は466と全国最多(率)となっており、これが指摘され、この流れをさらに維持拡大、『多くの人が健康で働けるよう、県内でもさらに

全国最多の実践をさらに

企業の「健康経営」

岡山県内は全国でも取り組みが活発とされる。企業が生産性を高めるため、従業員の健康受診や食生活、運動習慣の改善など健康づくりに努める「健康経営」だ。少子高齢化による人手不足や働き方改革を背景に、政府が推進している。その第一歩として全国健康保険協会(協会けんぽ)岡山支部は2016年から健康経営を進める約2千の加入事業所を「認定企業」に認定し、特に優れた事業所を毎年表彰している。

社説

「毎年のアンケートで社員の健康意識が高まってきている。健康経営が広がってきたと実感している。経済産業省などが毎年認定する全国の「健康経営優良法人」のうち、中小

新規加入会員企業

株式会社岡山高島屋	有限会社近藤鉄工所
株式会社丸五	株式会社ウディヨネダ
服部興業株式会社	井原精機株式会社
パナソニック吉備株式会社	みのる産業株式会社
株式会社三幸工務店	岡山交通株式会社
岡山ビューホテル	

メンタルヘルスの成立ちと最前線

総会後の講演会では、東京大学名誉教授で淳風会理事長の川上憲人先生と、淳風会メンタルサポートセンターの峰山幸子先生による、「健康経営に「いきいき職場環境改善」と題したセミナーが開催されました。メンタルヘルスは近年、健康経営の中で重要なテーマとなっております。従業員の

次回企業訪問はセリオ株に決定!

企業訪問のご案内

日時 11月27日(月) 15時より

場所 セリオ株式会社

参加方法 参加希望者は、考える会事務局までご連絡ください。

連絡先 ok4@junpukai.or.jp

7月に開催した第1回企業訪問の好評を受けて、第2回企業訪問を開催する運びとなりました。

第2回企業訪問先は、『セリオ株式会社』様になります。セリオ様では、健康診断の受診勧奨を年5回繰り返し行いながら、従業員の健康受診率100%を目標に活動されています。また、従業員の健康度に合わせたインセンティブとなるポイントを付与するなど、健康行動に対するモチベーション維持につながる施策をいくつも実践されています。参加に関する詳細は事務局より連絡させていただきます。改めてご確認ください。

余談ですが...

両先生は大学時代の師弟関係とのことです。峰山先生は川上先生から学んだメンタルヘルス分野の知識を活かし、その分野の指導者として活動されており、現在は師弟から協力者として、メンタルヘルスケアにおいて革新的なアプローチを提供する力強いチームを形成されています。考える会の力になってくれると思います。

健康経営度調査について

健康経営優良法人認定を目指す皆さまの多くはすでに調査票を提出済みとのことと拝察しますが、今年度留意すべきポイントを振り返っておきましょう。

① 私病等を持つ従業員に関する両立支援に「復職支援」が追加。

② 女性特有の健康関連課題に対する取り組みを問う質問項目が増加。生産性や女性の社会進出に影響する女性特有の健康課題に対し、積極的に取り組むことが求められています。

復職支援体制の整備等は、貴重な人材の逸失を防ぎ、安心して働ける職場づくりを目指すものです。

また日本の全就業者の約44.7%(2021年)を占める女性の健康への対応拡充が企業のさらなる活性化、ひいては社会課題への取り組みにつながるものとしてクローズ・アップされています。